住 民

本試験問題

〔第一問〕問1

- 問1 令和3年度分の個人住民税における次の制度の意義及び概要 に関し、所得税における取扱いとの相違点に留意しつつ、簡潔 に述べなさい。
 - (1) ひとり親控除
 - (2) 寡婦控除
 - (3) 寡婦及びひとり親に対する人的非課税措置

- (4) 甲の次男 (昭和59年4月23日生) の所得等の状況
 - ① 事業所得に係る収入金額等の明細
 - 事業収入

9 930 000円

必要経費

4 369 000円

- (注1) 甲の次男は創業当初より所轄税務署長から背色申告の承 認を受けており、帳簿書類を備え付けてその業務に係る一 切の取引を正規の簿記の原則により記録し、これに基づい て貸借対照表及び損益計算書を作成している。また、創業 当初より青色事業専従者給与に関する届出書を提出してい
- (注2) 甲の次男はe-Tax (電子申告) による申告又は電子帳簿 保存を行っていないものとする。

- ④ 前年分の所得税における住宅借入金等特別税額控除可能額

400 000円 3,880,000円

前年分の所得税に係る課税総所得金額 前年分の所得税額(税額控除前)

348,500円

(注) 平成27年3月5日から居住の用に供しており、前年の所得税 において住宅借入金等特別税額控除の適用を受けている。なお、 住宅の取得等の対価の額又は費用の額に含まれる消費税額等 は、すべて8%の税率により課されるべき消費税額等であった。

[第二問] (6) ③

③ 譲渡所得に係る収入金額等の明細

(単位:円)

区分	取 得年月日	譲 渡年月日	収入金額	取得費	譲渡 費用	譲渡先
d 株式(上場)	平成30年 12月10日	令和2年 9月14日	24,700,000	10,500,000	50,000	証券会社
e 株式(上場)	平成31年 3月25日	令和2年 7月5日	12,600,000	5,300,000	18,000	証券会社

(注1)全ての株式の譲渡について源泉徴収され、所得税の確定申告書に記載されている。

TAC予想問題

●全国公開模試〔第一問〕問1

問1 令和3年度の個人住民税について適用される寡婦控除、ひと り親控除及び扶養控除について述べなさい。

なお、所得税と個人住民税における上記控除額の差額につい て適用される調整控除の対象額についても述べること。

●実力完成答練 第2回〔第二問〕

① 事業所得に係る収入金額

9.500.000円

事業所得に係る必要経費

5,650,000円

(うち甲の次男に係る青色事業専従者給与額 990,000円)

④ 長男は、所轄税務署長により青色申告の承認を受けており、青 色事業専従者給与に関する届出書を適法に提出している。

また、事業上の一切の取引を正規の簿記の原則に従って記録し ており、損益計算書及び貸借対照表を確定申告書に添付して提出 している (電子帳簿の保存及びe-taxによる電子申告は行ってい ない。)

●直前対策講義 第4回 補助問題

(8) 前年分の所得税における住宅借入金等特別控除可能額

400 000円

① 前年分の所得税に係る課税総所得金額

2,391,000円

② 前年分の所得税額 (税額控除前)

362,250円

(注) 平成28年9月10日から居住の用に供しており (特定取得に 該当する。)、前年の所得税において住宅借入金等特別控除の 適用を受けている。

●合格情報 補助問題

(4) 譲渡所得に係る収入金額等の明細

(88.Pe - III)

(-1-Iz					(-1-18- , 1.1)	
区分	取 得 年月日	譲 渡年月日	収入金額	取得費	譲渡 費用	譲渡先
D株式(上場)	R2.5.20	R2.6.16	3,650,000	3,500,000	5,000	S証券会社
E株式(上場)	R2 9 9	R 2 10 24	1.240.000	1.450,000	3.000	S証券会社

(注1)全ての株式の譲渡についてS証券会社の特定口座内で源泉徴収され、所得税の確定申告書に記載されている。